令和五年度　熊本県立第二高等学校入学式　祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

又、同窓会準会員としてのご入会、心より歓迎致します。

ご臨席の保護者の皆様には、お子様のご入学の日を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

　昨年度は第二高校創立６０周年を迎え、盛大にお祝いやイベントを行うことができました。と同時に、次の７０周年、８０周年に向けて進みだしています。

期待や不安を胸に、皆さんはどのような高校生活を思い描いていますか。

皆さんの４期先輩、５８期生に東大に現役で合格した圓林悟君という人がいます。彼は少々変わっているというと失礼ですが、ムカデの生態を研究するために、大きなムカデを採ってきて、家で飼おうとしたのですが反対されました。そりゃ家族はいやですよね。そこで先生を頼って、学校に持ってきてムカデの生態を研究したんですね。その研究結果がなんと熊本県の最優秀賞を受賞しました。ムカデを受け入れた生物部の先生方も偉いですね。

私はムカデよりも彼の行動で感心したことが、学校の図書館で日々、日本経済新聞、俗にいう日経を読んでいたということです。私も子供がいますが、日経を読むように薦めたのは、就職試験の時ぐらいです。多分、親御さんも先生方も薦められていないと思います。彼が好奇心旺盛なのもあるかとは思いますが、ネットだけでなく社会人が読む日経新聞からも情報収集しているのは驚きでもあり、感心した次第です。

新入生の皆さんもネットだけに頼るのは良くないですからね。情報収集で新聞を読んでいた副産物として、読解力や論理力が培われたのは間違いないと思います。

昨年の同窓会の会報誌に圓林君に寄稿してもらいました。その中に後輩に対するメッセージが含まれていましたので、ご紹介します。

「在学中は魚類の研究を行うとともに、生物部では多足類の交代性転向反応について研究していました。と書くとかっこいいですが、実態は江津湖で魚捕りに興じ、生物室でムカデを追いかける日々でした。後輩の皆さんも、ぜひ高校生活を主体的に楽しんで下さい」

最後になりますが、同窓会は頑張る現役生の応援団です。皆さんをしっかり応援していきます。

６２期生の皆さんの３年間の高校生活が有意義で、かけがえのない充実した日々となりますよう、同窓会一同、心より願っています。

　　　　令和五年四月十日

熊本県立第二高等学校同窓会

りんどう会　会長　竹下力